



# 議会たより



No.131

令和3年4月22日

## 松崎



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

「桜ビューカーキング」



### 《主な内容》

第1回定例会（3月3日～3月10日）

令和3年度当初予算……………2

令和2年度補正予算……………6

岩科診療所指定管理期間を変更……………8

町政を問う 一般質問に6議員……………10



令和3年第1回定例会が、3月3日から10日までの6日間で開催されました。町当局からは条例一部改正が6件、令和2年度補正予算5件、令和3年度当初予算10件、その他2件が提出されました。

一般会計

予算総額36億9千万円

新型コロナウイルス感染防止と  
くらし・経済の支えを第一に

令和3年度一般会計予算は、前年度対比3600万円、1.0%増の総額36億9000万円となりました。主な事業としては、災害対策事業(河川・治山工事など)や第6次総合計画策定事業などが計上されました。

コロナ禍における感染防止と町民の命を守り、生活・経済を支えることを第一に、町民が地域に愛着を持ち、暮らしやすいと思えるまちづくりを積極的に展開するための重点施策として、「農林水産観光業の一体推進による経済活性化」、「災害に強い町づくり」、「医療・福祉の充実」、「新型コロナウイルス対策」を優先的に取り組む内容となっています。

**問** 令和3年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、例年以上に滞納者が出てく

**答** 総務課長 その心配はあるが、その場合当然事業の見直しなど、その時点で事業の精査は行うが、最終的に必要な事業であると判断すれば、財政調整基金を活用することになる。

**問** 軽自動車税について令和2年度までは増加傾向にあったが、令和3年度は減っている。人口減少に伴い台数が減っているのか。

**答** 窓口税務課長 令和2年度の収納率については、落ち込むことを心配し注視をしているが、4月以降通じて昨年度を上回っている。滞納処分するにあたっては、徴収猶予の特例措置を案内したり、状況を勘案し、例年がない目線で注視し判断している。

歳入

町税前年度比9.9%減  
総額5億4960万円

**問** コロナ禍において、現在住民税の申告を受けているが、申告が出揃った時点で、町税が見込みを下回る可能性がある。その場合は、収入不足となるが、予備費などを使い予算書のとおり執行していくのか。それとも事業を見直していくのか。

る可能性があると思うが、例年どおり滞納処分するのか。若しくは特例措置があるのか。

**答** 窓口税務課長 軽自動車

の台数は減り続けているが、逆に税収が増えている年度がある。この原因は、軽自動車が13年目を迎えると重課措置により税額が高くなるため、台数は減少しても古い車になるということ、税額が上がるという状況があった。令和3年度は、そういう状況においても、台数減の影響が強く出て減額となった。

**問** ふるさと納税収入が前年度比1千万円増額されているが、増やすためにどんな策があるのか。

**答** 企画観光課長 自分で返礼品の発送ができず諦めていた方や体験型のもを増やすことを目標に進めている。海産物なども小規模な事業者を開拓し、徐々に品目も増えている。

**問** 河川海岸愛護事業費補助金の用途は何か。松崎海岸の清掃は有志が行



松崎海岸を清掃する有志

っている。道具の補助はされているようだが、大雨の度に上流から流れ着く大量の刈草など、集めたゴミの処理に大変苦労をしていると聞く。この補助金を使って、刈草の処理やゴミの焼却はできないのか。

**答** 産業建設課長 花いっぱい事業の河川清掃活動費に充てている。補助金の額は少ないが、ゴミの処理などについては、花いっぱい事業費の中で対応できると思う。河川の上流沿いの刈草については、作業の際、増水したときに流れないよう回収するなど対応していきたい。

歳出

新型コロナウイルスワクチン接種に3100万円

**問** ここ何年か、決まった金額で移住定住業務を

委託しているが、新聞などを見ても効果が感じられない。せっかく移住定住促進協議会があるのだから、そちらをもっと活用すべきではないか。

**答** 企画観光課長 せっかく作った移住定住促進協議会がなかなか活用されてきていないということ、新年度は協議会の中で意見や知恵を出し合い、ネットワークを活用した中で事業を進めていきたい。

**問** 棚田保全活用事業では、持続可能な体制づくりと棚田の活用を行うことになっているが、国の指定棚田になったことから、商品開発なども補助対象になると聞いている。今後、商品開発の予定

はあるのか。

**答** 企画観光課長 商品開発については、現在商工会と進めているが、まずは棚田のファンになってもらうため、Tシャツなど物品の販売につながるものデザインを作っている。令和3年度は、棚田で収穫した農作物を使った商品開発も進めていきたい。

**問** かねてから要望していた保育園におけるALT派遣事業費が計上されているが、内容を確認したい。

**答** 健康福祉課長 教育委員会の方で、幼稚園、小学校、中学校に派遣しているが、その中で1名、月1回程度保育園の方に派遣してもらうもの。

**問** 前々回の総合計画の策定にあたっては、10

0人委員会を作って、市民の意見を聞きながら策定した実績があり、画期的だと評価された。今回の総合計画策定にあたって、そのような考えはあるのか。

**答** 町長 大変いい提案だと思う。検討していきたいと思うが、これからデジタル化社会になってくることは間違いない。それと同時に人間らしさというものを残していきたい。

**問** 西豆救急医療委託の内容はどのようなものか。

**答** 健康福祉課長 西伊豆町と合同で一次救急を賀茂医師会の方へ委託するもの。現実的には西伊豆健育会病院が全て担っている。

**問** 農地保全対策委託は、草刈りに掛かった経費の2分の1が補助されるが、山沿いの里山にも耕作放棄地がある。それらも対象に含めるのか。

**答** 産業建設課長 農地として保全管理してもらいたいので、農地として利用できるものであれば、対象にしたい。

**問** 食生活を改善することにより、医療費の抑制にもつながると思うが、健康づくり食生活推進協議会補助金6万円は活動費として少ないと思う。増額する考えはあるのか。

**答** 健康福祉課長 健康対策を推進していく上で、食育というのは非常に重要であり活動に大変感謝している。令和2年度からは管理栄養士を採用し活動しているが、事業を実施していく上で、必要であれば、増額も検討していく。

**問** 防災アドバイザーの

2名は、どんな業務を行うのか。

**答** 総務課長 災害対策について、有事平時問わず、災害対策本部に関わってもらおうが、その他にも、一昨年の台風15号、19号では、避難所が非常に混乱したので、防災士の果たす役割の中で、避難所の円滑な運営のためにアドバイザーをお願いするもの。

**問** 依田之庄入り口の消毒液を置いたテーブルとその上の広告板は町の備品なのか。備品であるとするならば、何故下田のイチゴ農家の広告なのか。まつざき荘など町内の広告が優先されるべきだと思うが、何かいきさつがあったのか。

**答** 企画観光課長 テーブルは町の備品であるが、広告の件は施設自体振興公社の運営であり聞いていない。経過を確認した上で回答する。

**答** 町長 そのイチゴ農

家というのは、私の娘が嫁いでいる農家であるが、私に依頼があったことは一切ない。そのイチゴ農家の宣伝はまつざき荘とかにもあるはずであるが、私は一切関わっていない。



依田之庄入り口にあったイチゴ農家の広告

**問** 本来、花いっぱい運動はコミュニティを通じて住民参加のまちづくりをしていこうとするもので、シルバー人材センターに委託すべきものではないと思う。この委託費を、少しでも地域のコミュニティの方へ活動資金として回す考えはないのか。

**答** 町長 もともとそ

ういうことで始まったものであるが、いつの頃からか、担い手不足などから現在の形になったものと思う。住民と話し合い努力の必要があると感じている。

**問** 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について、集団接種と個別接種の位置づけを確認したいが。

**答** 健康福祉課長 基本的には多人数に対応できるようにするため集団接種を行い、これが落ち着き病院の方で準備が整ってきた時点で徐々に、個別接種に移行していく段取りで考えている。

**問** 鳥獣被害対策用原材料支給は、何軒かで共同で行えば対象になるのか。

**答** 産業建設課長 鳥獣被害対策については、個人での対応が難しくなっており、地区単位での対策が必要だと考えて

いるため、何軒かの共同ではなく、地区で実施することを想定している。

**問** 花の三聖苑直売所建設に向けたイベントや資料収集のための予算が計上されていないが、直売所建設は諦めたのか。

**答** 町長 否決された経過があり、時間をかけ根幹の考えをまとめ成熟した上で議会の了解を得ていきたい。

賛成討論

令和3年度の予算は、新型コロナウイルスの影響による経済の停滞から脱却するための重要な予算である。町長も議会も、この町を良くしたいという方向性は同じであり、虚心坦懐で、新型コロナウイルス感染症、経済対策のため予算執行をお願いしたい。よって賛成する。

**国民健康保険会計**

予算総額は、9億9170万円、前年度比580万円、0.6%の減となった。

保険給付費は、前年度比1.6%増の7億2277万2千円、県への納付金は新型コロナの影響を考慮し、県国保会計の剰余金を減算に充てるなどしたため、前年度比8.1%減の2億2318万9千円を見込んだ。

**問** 特定健診で地区の協力を仰ぎ、受診率が上がったら報奨金を交付するような考えはないのか。

**答** 健康福祉課長 受診率向上には、各地区の保健委員から呼びかけをしてもらっている。報奨金の支給については今後の検討課題となるが、現在の制度としては、検診をいくつか受診すると、がん検診の自己負担分が無料になるなどのマイレール

ジ制度があるので、それらを活用したい。

**問** 医療費の動向について、新型コロナ発生以降病院にかかる人が減っているというが、資料を見る限り、医療費はむしろ増えているように思う。その辺りどのように分析しているのか。

**答** 健康福祉課長 新型コロナの影響を受けているのは入院外の部分であり、通院に関しては医療費は減少しているが、入院に関しては高額医療費の増など増加傾向にある。

**介護保険会計**

予算総額は9億9726万3千円、前年度比5356万3千円、5.7%の増となった。

認定者数、サービス受給者数はほぼ横ばいであるが、保険給付費は4980万円余の増加が見込まれている。

**問** 通所介護を受けている人の中には、介護度が高く、特別養護老人ホームへの入所を希望しても入所できない人がいる。町はどのように対応しているのか。

**答** 健康福祉課長 特別養護老人ホームについては、要介護3以上の方が入所できる施設になるが、施設で個々に調査をし、評点に従って入所の順番を決めているので、申し込んだらすぐに入所ということにはならない。

**水道事業会計**

給水収益を前年度比94.4%で見込み、事業収益を1億4590万2千円、事業費用1億4037万6千円、税抜きの当年度純利益を338万3千円とした。

主な事業としては、伏倉配水池実施設計業務委託や水道台帳電子化業務委託などを予定している。

**問** 事業収益と事業費用、ともに下がりながら利益が出ており、非常に珍しい収益構造と見える。収益が下がっても費用は落ちにくいものがあるが、費用が下がっている大きな原因は何か。

**答** 生活環境課長 新型コロナ、人口減少の影響もあり事業収益は落ちているが、事業費用減については減価償却費の減が、大きく影響している。

**温泉事業会計**

供給戸数は、自家用322戸、営業用30戸。

供給収益を前年度比98.9%で見込み、事業収益を6394万3千円、事業費用を5900万9千円とし、税抜きの当年度純利益を451万1千円とした。

**問** 新規加入促進の方法は。  
**答** 生活環境課長 温泉デリバリーでPRしているが、温泉を引くことは

高齢で厳しいという意見が多い中、新規加入の問い合わせも受けている。

**伊豆まつざき荘会計**

新型コロナの影響から、宿泊利用者を前年度比500人減の2万1300人（宿泊利用率43%）と見込み、事業収益を前年度比2969万円減の3億2196万円、事業費用を3億2630万円としたため、当年度差引損益を496万2千円のマイナスとした。

**問** 隣町では老人保健施設で新型コロナのクラスターが発生し、地元の旅館がその職員を受け入れている。当町で同じようなことが起こった場合、まつざき荘で受け入れる考えはあるのか。  
**答** 企画観光課長 万が一町内で今回のようなケースが発生した場合に、できるだけ対応したいと考えている。

一般会計

**補正予算(第12号)**は、歳入歳出予算から940万9千8百円を減額し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ48億869万5千円とした。

また、令和2年度末までに事業完了が見込めない新たな11事業について、令和3年度への繰越明許とした。

**問** 桜葉新農薬登録業務委託について減額の理由が、手を上げるメーカーがなかったとの説明だったが、その原因は何か。

**答** 産業建設課長 分析調査などを行う必要があるため、桜葉の生産時期までにメーカーを見つけて探したが生産時期までに見つからなかった。年度途中で手を上げるメーカーが見つかったため、令和3年度、4年度で実施する予定である。

**問** 農薬を使わないで桜葉をやってみようという試みをしている業者がある。桜葉振興としては同じ方向性だと思う。町として支援の可能性はあるのか。

**答** 産業建設課長 桜葉振興する上では、さまざまな考えを持っている方をウエルカムで歓迎したい。やり方が農薬を使うよりも良いということになれば、それを勧めたい。今の時点でどのような支援ができるかわからないが、具体的に話があれば前向きに対応していきたい。

**問** 緊急輸送ルート等沿道建築物耐震補強助成事業が予定されていたが、2754万4千円減額されている。予算措置した段階では、どこか想定される建物があつたからだと思うが、整備が必要なのに整備されなかったとすると災害時に支障となる可能性がある。その場合、どのように対応するのか。

**答** 産業建設課長 対象物件が8棟ある。令和2年度が事業初年度であり、対象物件の中で一番規模の大きなものを予算計上したが、結果として事業の申請がなかった。今年度対象物件の意向調査を行ったところ、2棟で実施希望があつたので、この2棟について令和3年度当初予算に計上した。

**問** グリーンツーリズム推進事業について、新型コロナウイルスの影響により、事業ができなくなったという事で減額されているが、どんな事業を予定していたのか。他に使うことはできなかったのか。

**答** 企画観光課長 都市部から体験型の事業という事で、泥団子、漆喰饅頭、繭玉作成教室などをメインでやっている。それ以外にもカヌー、マウンテンバイク、みかん狩りなどを進めて行く方

針であつたが、緊急事態宣言によつて誘客をすべきではないという空気があり、事業が実施できなかった。

**問** 繰越明許費の補正について、救護所資機材整備事業と皆毛橋補修事業を繰越した理由は何か。

**答** 健康福祉課長 救護所資機材は、テント、簡易ベッドを購入予定であるが、新型コロナウイルスの3次補正の交付金を活用して整備するため、今回の補正に計上し、繰越して令和3年度で購入する予定である。

**答** 産業建設課長 皆毛橋については、12月補正で工事費を計上したが、橋の利用者など地元との調整に日数を要したため、年度内の完了が難しくなったもの。

いて、宿泊料や食事料などの見込み減により事業収益を1億7622万5千円減額。

一方、事業費用においても施設経営費など1億430万4千円を減額し、当年度差引損益を7177万1千円減の7176万1千円のマイナスとした。

**問** 新型コロナウイルスの影響で長期に渡り休館していたが、休館中どのような改革をしたのか。

**答** 町長 今まで時間的に取り組めなかった接遇の向上を中心に改革に取り組んだ。マスクの作成、販売なども行い、町内の名所を各人が案内できるような教育も行っている。

伊豆まつぎ荘会計

補正予算(第2号)は、収益的収入及び支出にお



条例

◎松崎町営明治商家中瀬邸の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例

令和3年4月から町直営とすることにより、入館料を無料とするため、入館料に係る規定を削除するもので、令和3年4月1日から施行される。

◎松崎町営民芸館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例

令和3年4月からワークショップ事業を始めるため、関連する事業項目を追加するもので、令和3年4月1日から施行される。

◎松崎町廃棄物処理施設周辺整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例

雲見区において実施される雲見地区集会施設建設用地への進入路拡幅整備などの事業財源に充て

るため、松崎町廃棄物処理施設周辺整備基金（500万円）を取り崩すもので、公布の日から施行される。

◎松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の一部が改正され、個人所得課税の見直しが施行されたことに伴い、国民健康保険税の負担水準に関して不利益が生じないように、また、新型コロナウイルス感染症に関する部分で、公布の日から施行される。

◎松崎町国民健康保険条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症に関する部分を法令に合わせるもので、公布の日から施行される。

◎松崎町介護保険条例の一部を改正する条例

3年を1期とする介護

保険事業計画の策定に伴い、令和3年から令和5年までの65歳以上の高齢者に係る保険料月額基準額を5700円とするもので、令和3年4月1日から施行される。

その他

◎指定金融機関の指定の変更について

地方自治法施行令の規定により指定している現在の指定金融機関「伊豆太陽農業協同組合」との2年間の契約期間が、令和3年6月30日をもって満了となるため、新たに「三島信用金庫」を次の指定金融機関に指定した。

◎選挙管理委員及び補充員の選挙

任期満了に伴う選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われた。任期は令和3年3月23日から令和7年3月22日までの4年

間となる。

【選挙管理委員】

- 関 良志雄（中区）
- 山崎 富幸（明伏）
- 田口 聡（八木山）
- 土屋 友衛（雲見）

【補充員】

- 齋藤 一雄（岩地）
- 高橋 和宏（江奈四）
- 松本 昌文（建久寺）
- 中村 直（松尾）

第1回臨時会

◎専決処分の承認を求めることについて（令和2年度松崎町一般会計補正予算（第10号））

新型コロナウイルス感染症対策として、国の進めるワクチン接種事業を早急に実施する体制を整える必要があることから、一般会計補正予算を専決処分した。支出の内容は、ワクチン接種券郵送料や接種券作成業務委託費、コールセン

ター接種予約・相談業務委託費など620万8千円。財源は全て国庫支出金で賄われる。

◎令和2年度松崎町一般会計補正予算（第11号）について

新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が減少している事業者の事業継続を支えるため、町独自の緊急的な経済支援を行うもの。支出の内容は、1事業所当たり20万円の事業所支援特別給付金を支給する。対象は、国の持続化給付金の給付対象者で町税の滞納のない事業者400件を見込み、8千万円を計上した。財源は、国の地方創生臨時交付金3600万円と県が補正措置した新型コロナウイルス感染症対策地域振興臨時交付金2500万円、財政調整基金繰入金1900万円を充てる。

## 岩科診療所 指定管理期間を変更

◎公の施設(岩科診療所)の指定管理者の指定期間の変更に関し議決を求めることについて

松崎町岩科診療所については、令和3年4月1日の開院を目指して事業を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、町議会において地域経済の再生を優先させるため、診療所建設工事の延期を求める決議が可決されたことや、大都市を中心に感染が全国に拡大し、感染者数が急増したことを踏まえ、指定管理者である地域医療振興協会と協議した結果、令和5年4月1日の開院を目指すことで合意を得たため、指定管理期間を令和5年4月1日から5年間に変更するもの。

**問** 令和3年度に協定書  
の案ができると言うが、  
協定内容の決定にあたり、  
条例で診療日、診療  
時間などが規定されてい  
るが、それに沿う形とな  
るのか。

**答** 町長 細部にわたつ  
てはまだ協議していな  
い。患者の数を増やして  
いくためには、往診が必  
要ではないかとお願いし  
ており、地域医療振興協  
会の理事長も前向きに考  
えている。

**答** 健康福祉課長 新型  
コロナの影響から、岩科  
診療所の経営計画の見直  
しをお願いしている。診  
療日、診療時間に変更が  
生じた場合は、条例を改  
正していく。

**問** 令和4年度から建設  
工事が始まる中で、いつ  
までに協定書が締結され  
ている必要があるのか。  
また、協定内容の協議状  
況は。

**答** 健康福祉課長 令和  
4年度当初予算に建設費  
などを計上するので、12  
月までには案を固めた  
い。協定内容については、  
町の案を示し、すり合わ  
せをしているが、指定管  
理料については今後協議  
をしていく。新型コロナウイルス  
発生前の計画であり細部  
にわたってはまた協議し  
ていない。

**問** これまでの経緯とし  
て、ここで議決をせざる  
を得ないというような議  
案の出し方をしてきた。  
責付くような進め方はし  
ないと約束してもらえな  
いか。

**答** 町長 そのようなこ  
とはしていない。相手が  
あることで、頻繁にやり  
とりもしている。齟齬の  
ない形でやっていく。

**問** 協定内容について  
は、9月頃までに示して  
もらうと、町が不利にな  
らないよう我々も十分協  
議できると思うがどう  
か。

**答** 健康福祉課長 協定  
書については、議決事項  
ではないため、全員協議  
会で協議していただく。  
電話、メール以外にもリ  
モート会議など利用し細  
部をつめていく。

### 賛成討論

新型コロナウイルスの状況は未  
定であり、さらに遅れる  
ことも考えられるが、令  
和3年4月1日開院は当  
然不可能であり賛成する。

指定管理期間変更  
に至った原因は新型コロナ  
の影響によるものである  
以上、やむを得ないこと  
である。よって賛成する。

## 議会事務局職員人事異動

議会事務局長 松本利之

(総務課長補佐兼消防防災係長)

議会事務局書記 渡辺慶介

(生活環境課公営企業室)

※4月1日付け、( )は旧任

退職 山本稲一

(議会事務局長)

退職 落合拓己

(議会事務局書記)

※3月31日付け、( )は旧任



## 第 1 回臨時会・第 1 回定例会 賛否状況一覧

議会名	議案番号	議 員 件 名	田	鈴	小	深	渡	高	土	議決状況
			中	木	林	澤	辺	柳	屋	
第 1 回臨時会	議案第 1 号	専決処分の承認を求めることについて (令和 2 年度松崎町一般会計補正予算 (第10号))	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 2 号	令和 2 年度松崎町一般会計補正予算 (第11号) について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第 1 回定例会	議案第 3 号	松崎町営明治商家中瀬邸の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
	議案第 4 号	松崎町営民芸館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 5 号	松崎町の廃棄物処理施設周辺整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 6 号	松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 7 号	松崎町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 8 号	松崎町介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第 9 号	令和 2 年度松崎町一般会計補正予算 (第12号) について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第10号	令和 2 年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号) について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第11号	令和 2 年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号) について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第12号	令和 2 年度松崎町介護保険特別会計補正予算 (第 2 号) について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第13号	令和 2 年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業計画補正予算 (第 2 号) について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第14号	令和 3 年度松崎町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第15号	令和 3 年度松崎町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第16号	令和 3 年度松崎町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第17号	令和 3 年度松崎町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第18号	令和 3 年度松崎町水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第19号	令和 3 年度松崎町温泉事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第20号	令和 3 年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第21号	令和 3 年度松崎町岩地集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第22号	令和 3 年度松崎町石部集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第23号	令和 3 年度松崎町雲見集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第24号	指定金融機関の指定の変更について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第25号	公の施設 (岩科診療所) の指定管理者の指定期間の変更に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※賛成：○ 反対：×

# 町政を問う

**問** 爆破予告の対応は

**答** 関連部門と連携で



高柳孝博議員



**問** 公共施設の爆破予告の対応策をどう考えるか。

**答** (町長)

警察・消防署の方に周辺に待機していただくと共に、職員で庁舎の見回りと出入り口の制限をして警戒にあたった。迅速に対応できたと考える。

**答** (総務課長)

不審者の対応については、役場職員に防犯訓練をしており、録音機能付きの電話などを活用し対処していきたい。

**答** (町長) 令和3年度に庁舎内の増設更改のほか、中瀬邸への新設を予定している。今後も必要箇所へは設置していく。

**答** (生活環境課長)

水道施設はフェンスなどで侵入防止をしているが、防犯カメラの設置も今後の課題と考える。

**問** ふるさと納税増収は

**答** 返礼品の拡大で

**問** ふるさと納税増収施策は何か。

**答** (町長)

農業生産者やお土産店などに提案を持ちかけ返礼品の数を増やしている。第三者をいれて発送しやすくしたり、特産品をセットに組むほか、体験や思い出なども返礼品としていく。

**問** 市場調査結果はどうか。発送の担い手、作業場検討の成果はどうか。

**答** (町長) 生産量の増加などは生産者の負担が大きく、発送業務の担い手を確保して増収を図る。

**問** ICT教育の発進は

**答** 端末使用規則作成で

**問** タブレットの取り扱いマニュアルは作成するのか。また、補助者の配置の考えはあるか。

**答** (教育委員事務局長) 現在のところ指導補助者については配置の予定はないが、ICT知識の修得が必要と考える。必要なら講師を依頼する。

**答** (教育委員会事務局長)

配布したタブレットの学校と家庭における取り扱いについて、国のモデルを参考にしながら町のルールを策定し、マニュアル化する。



増収に向けて (松崎町ふるさと納税HP)



救急車は足りるのか（西伊豆消防署）



小林 克己 議員



**問** 特定健診の受診率は

**答** コロナの影響で減少

**問** 今年度の特定健診受診率は。また、受診啓発活動の実施はしているのか。

**答** （町長）

1月末現在で30.3%、昨年度末と比べ約10%減少した。減少の理由は、新型コロナウイルスの影響により、賀茂医師会に委託している集団検診の日数が減少したこと。また、完全予約制に変更したことにより、1日に受診できる人数が限られたことと考えている。受診機会を確保するために2つの医療機関と町が契約し、個別検診を実施した。啓発については、未受診者への勧奨通知や電話連絡、保健委員の協力を得て受診を呼びかける活動をした。

**問** 考えてはどうか。

**答** （町長）

救急車が出払っている時に救急の電話を受けた場合、患者の状況によって、指令車などで出勤することや、電話の受け答えにより緊急性を要しないと判断した場合は下田消防本部へ応援を要請する。民間救急車にどこまでニーズがあるかわからない。西伊豆消防署からの要請もないので、企業を誘致する考えはない。

**問** 駿東伊豆消防組合との消防広域化の話が進んでいない。統合により救急車の件も解決され、安心に暮らせる福祉の町になるのではないか。

**答** （総務課長）

消防組合統合の話が県の再編計画に数年前から載っている。しかし、新型コロナウイルスの影響や細かい課題が山積しているため、思うように話が進んでいないのが現状。オリンピック以降に本格的に

協議を行うようになると思う。

**問** 公共交通の在り方

**答** 新しい視点で

**問** 自主運行バスは地域や利用者のニーズに即した運行方法を考えるべきである。当町はどのよう

**答** （総務課長）

地域や利用者の行動をデータ化し、そのニーズに即した最適な運行方法を検討することは、非常に重要なことで、町ではタブレットを活用し、バスの実際の運行状況や乗降の実人数を調査する。社会の変化に合わせた新しい視点での公共交通の在り方を、関係事務所と連携協力していく。

問

接種会場への公平な負担を

答

国費活用で利便性を図る



渡辺文彦議員



**問** 新型コロナウイルスワクチンの接種は完全予約とのことだが、予定日に受けられない場合はどうなるのか。

**答** (町長) 町でのワクチン接種は集団接種を検討している。会場の密を避けるため完全予約制で行う。予約はコールセンターを通じて日付順に順次入れていく。

体調不良などにより予約当日に接種ができない場合は改めて予約することになる。

**問** ある程度集団接種が落ち着いた後は、病院などでの個別接種も検討している。

**答** (町長) 高齢者が接種会場へ行く際の経費負担に公平性を担保するため、買物タクシーの利用曜日を、この期間だけ外すことはできないか。

集団接種会場までの送迎については、町が行った場合、国の補助対象である。

ある。マイクロバスやジャンボタクシーで、地区ごとの対応ができるのか検討し、高齢者の利便性を図ることを考えている。

問 生活困窮者の支援は

答 実態が不明である

**問** 事業者以外の方が、コロナ禍による勤め先の休業などからの減収で、生活資金について社会福祉協議会に相談していると聞く。町は実態を把握しているのか。

**答** (企画観光課長) また、この方々にも支援すべきと考えるがいかがなものか。

事業者の休業で収入の減った方には雇用調整助成金がある。国が関与している事業なので、町には情報がない。どれくらいの方が相談に伺っているのか、把握できていない。

問 桜葉生産者拡大策は

答 協力隊員の増員で

**問** 現役の桜葉生産者が減っている要因をどう考えるか。

**答** (町長) 生産者の高齢化による廃業が主因と考えるが、手間の割に収入が少ないこと、期間限定で収入が安定しないこともあるのでは。

**問** 令和3年度、新たに3名の地域おこし協力隊員の増員を予定している。

**答** (町長) 生産者減に対応するため協力隊員を3名にする。彼らの持つ新たな視点、桜葉の生産性を向上させることを期待したい。また、生活の安定のため耕作放棄地を活用して他の作物の栽培にも挑戦してもらえればと考える。



今後のワクチン接種は (参考：予防接種の受付風景)



ゴミ処理広域化協議のため操業が延長されたクリーンピア松崎



田中道源議員



## 問 コロナ禍の経済対策は

## 答 事業者を迅速に支援する

**問** 事業者の規模や被害の程度に応じたきめ細かい支援の計画はあるか。

**答** (企画観光課長)

幅広く支援できるような計画を4月中に出せるよう協議していく。

**問** 新型コロナウイルス支援で水道料金の減免をしてはどうか。手洗いうがいの徹底は重要な新型コロナウイルス対策であり、松崎町全体で行っている。町民全体に恩恵があることだと思うが、その予定はあるか。

**答** (町長)

現状では困難である。国の交付金や他の支援策を見据えて判断する。

**問** 財政調整基金を投入する予定はあるか。

**答** (町長)

必要に応じて、国県の交付金、財政調整基金を活用する。

**問** ゴミ処理施設の進捗は

**答** (町長)

下田市で燃焼方式に

**問** トンネルコンポスト方式は脱炭素を掲げる政府の方針、世界の潮流に沿ったものだと考える。それをあきらめて燃焼方式の結論を出すには、調査が不十分ではないか。

**答** (生活環境課長)

トンネルコンポスト方式で生成される固形燃料の安定した引受先が現状では見つかっていないため、国の交付金を受けることができない。

**問** 現在使用している施設の解体に国県の補助金は活用できるのか。

**答** (生活環境課長)

活用はできないが、下田市が受けた交付金について分配するように協議中である。

はなされていない。

**問** 3月末に下田市へ参加の是非を答申する前に、全員協議会を開く予定はあるか。

**答** (町長)

全員協議会を開き、しっかりと説明する。

**問** 三聖苑の今後は

**答** 方向性の決定が先

**問** 「全国道の駅支援機構」を活用する予定はあるか。

**答** (町長)

さまざまな分野のプロが地域の人々とともに、その地域にあった方向性を見出し、「人、モノ、金」を生み出す拠点となるように支援をしている団体であると認識している。まずは、三聖苑の方向性を再構築し、地域に愛される施設の在り方を確立する。その後、必要に応じて機構に支援を要請し活用する可能性はある。

問

コロナ対策をきめ細かく

答

しっかりと協議を進める



鈴木茂孝議員



町の事業所支援特別

給付金は、事業者の減収に  
応じたきめ細かい支援をする  
必要があると考えるがどうか。

（企画観光課長）

今まさに救済措置を検討中  
である。

新型コロナで疲弊している  
町民のため議員報酬を削減  
したが、補正予算を見ても使  
われた事業は見えない。議員  
の思いや町民の期待に反する  
結果となっているのでは。

今年度の給付金は議会に  
相談がなかった。このような  
施策の進め方は、町民の  
声が町政に反映されないの  
ではと考えるが。

（企画観光課長）

年度を繰り越して支援に  
活用していく。

今回の給付金は議会に  
相談がなかった。このよ  
うな施策の進め方は、町  
民の声が町政に反映され  
ないのではと考えるが。

（町長）

今後は注意して、意見を  
反映するようにする。

プレミアム商品券の  
販売について、今後は密

にならないように販売方法  
を工夫し、GWには全ての  
町民が買えるよう、販売  
すべきでは。

（企画観光課長）

販売方法については密であ  
ったと認識している。次  
の販売は6月前にしたい  
と準備している。

宿泊業には、給付金以外  
にも支援が必要と考える  
。また、宿泊業者の実績  
に応じて支援すべきと考  
えるが。

（企画観光課長）

長期的なスパンも考えて、  
息の長い支援を検討して  
いる。

問 新年度予算は

答 地産地消を推進

7月の広報まつぎで町  
長は、「農林水産業と観光  
の一体化と経済の自給自  
足を目指す。そのため、  
三聖苑直売所は絶対必要  
である」ということを書  
いている。しか

し、新年度予算に事業が  
計上されていない。なぜ  
か。

（町長）

直売所については必要と考  
えているが、具体的には  
まだ決まっていない。

コロナ禍で地方移住が注  
目されている。町の今年  
度の出生数は9名と少な  
い。松崎町が消滅してし  
まうという危機感をも  
って移住施策を進めて  
いかなければならないと  
考えるがどうか。

（企画観光課長）

移住推進協議会をより

一層活用して、機能させ  
ていく必要がある。

問 非常時の電源は

答 最良の方法を検討

役場・町内の避難施設  
に太陽光発電施設を整  
備する考えは。

（町長）

燃料に頼らない太陽光  
発電施設は有効な手段の  
1つであり、初期投資や  
運用面など比較検討し、  
最良の方法を検討してい  
く。



非常時の生命線となる役場自家発電装置



業務は滞らないのか（決裁に並ぶ職員）



深澤 守議員



## 問 花とロマンの里とは

## 答 コミュニティづくり

**問** 花とロマンの里のコンセプトは。

**答**（町長）これはコミュニティづくりの事である。この町はこういう1つの方向で、みんな一緒になって頑張ろう、という方向性を明示している。

また、花というのは、花がたくさんあるというのも1つの考え方ではあるが、それと同時に花とということ象徴にしてみんなでこれを守って前に進んで行こうという意味でもある。

コミュニティというのは故郷という意味ではなく、この町はこういう方向でみんなと一緒に行動しよう、というような意味であると考えている。

## 問 経済の振興策は

## 答 地産地消と観光振興で

**問** 町長は広報まつぎき7月号の町長室からこんにちはで、これからの松

崎町の経済について「日本の経済に左右されない体制づくりが必要」と書いている。しかし、町長はもともと農林水産と一体となった観光事業の推進を掲げており、この2つの政策は相反する政策だと考える。どちらを優先するつもりか。

**答**（町長）全く矛盾をしていない。観光は、松崎町の主要産業である。しかし、お客様が来なければどうしようもない、ということがコロナ禍でわかった。観光を捨てるわけではない。今回の件で観光に頼らない「地産地消」の経済体制が必要であると考えるようになった。また、農業の大切さも再認識した。都会の方は農業や漁業に魅力を感じてやって来る。少しずつ農業に重きを置いていくことが、今後の観光業の発展にもつながっていく。従って、2つの政策はまったく矛盾していない。

**問** 町長の言う、農林水産と一体となった観光事業推進には加工場が必要だと考える。これは、ふるさと納税の増収などにもつながると思う。つくる考えはあるか。

**答**（町長）議員の積極的な意見は承った。機会があつたら話し合いたい。

## 問 決裁方法の改善を

## 答 滞ることはない

**問** 町長が決裁の時間を朝のみに制限しているため、町長決裁のたび、町長室には長蛇の列ができる。何十分も待つ職員もいて時間のロスである。決裁方法を改善するつもりはないか。

**答**（町長）決裁で一人一人から説明を聞くというのには、お互いが勉強になる。その際、職員の様子を見て職員の健康状態も確認している。決裁により職員の業務が滞ることはない。

次の定例会は、6月8日(火)からの予定です。

## 議会のうごき

### 1月

- 14日 広報編集委員会
- 21日 広報編集委員会
- 22日 賀茂郡町議会議長会議（河津町）
- 26日 静岡県町村議会議長会役員会（静岡市）
- 28日 議会だより 130号発行

### 2月

- 12日 議員会勉強会
- 15日 第1回臨時会
- 16日 静岡県町村議会議長会定期総会（静岡市）
- 17日 議会全員協議会
- 22日 下田メディカルセンター議会定例会
- 24日 議会運営委員会・広報編集委員会  
下田地区消防組合議会定例会
- 26日 議員会勉強会

### 3月

- 3～10日 第1回定例会
- 29日 西豆衛生プラント組合議会定例会

表紙の写真「桜ビューウォーキング」は文化協会写真部より提供。



この人に  
聞きました⑳  
社会福祉協議会会長  
石田博之さん

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、松崎町社会福祉協議会会長にこの1年（新型コロナ関係）についてお話を伺いました。

○新型コロナの影響についてお伺いします。

松崎町にも新型コロナの影響で勤め先が休業になった方、またそれを理由に自主退職された方が何名かおられます。我々はそういった方々に対し

生活福祉資金などの貸し付けを行っています。ほかに、フードバンクによる食糧支援や健康福祉センターと連携した生活支援などを行っています。

○町に伝えたいことはありますか。

貸し付けには、据え置き期間がありますが、あくまで借金です。返済が必要で、先の見えない現状に組織として限界を感じています。ぜひ、町

には給付型の支援をお願いしたいです。

我々を利用する方は、声を上げづらい方々です。現状を把握することは困難です。町や民生委員、議会が連携し情報を共有することで、そういった方々をより多く救えると思います。そういった体制づくりに、これからも協力をお願いします。

（聞き手 編集委員長）

#### 発行責任者

議長 藤井 要

#### 編集委員長

渡辺文彦

#### 編集委員

田中道源  
鈴木茂孝  
小林克己  
深澤守  
高柳孝博  
土屋清武

## 海鳴り

春は出会いの季節であり別れの季節でもありません。今回議会事務局を支えてくれた2名の職員が退職し4月から新体制となりました。

いまだに先が見えない岩科診療所の開設、まっざぎ荘をはじめとした観光施設の経営改善、ITを活用した教育などコロナ禍の影響が残るなかでの不安なスタートですが、議会力を結集し当局と共に難局を乗り切っていきます。

本年度は当町を含め近隣4町の町長選と西伊豆町議選が行われますが、議会だよりが発行されるころには西伊豆町の選挙結果が出ていると思います。当町においても人口減少と少子高齢化が急速に進み、地域経済が縮小するなか近隣市町との連携は必要不可欠です。地域に暮らす町民が手を取り合い「夢と希望をもって頑張っていける町、対話のできる町」にしていきたいでしょう。

（議長）